

# あゆむ

認知症の人とあゆむ会

〒026-0052 岩手県釜石市小佐野町 3-9-1

事務局：はまゆり在宅介護支援センター内

TEL：0193-25-0650/Fax：0153-23-1415

## 平成25年度あゆむ会総会と特別講演会開催

認知症の人とあゆむ会の今年度の総会と特別講演会が、6月1日（土）アミーガはまゆり地域交流スペースで開催されました。

総会では H24 年度事業報告及び収支決算報告、H25 年度事業計画案及び予算案が事務局より報告され、異議無く承認されました。

総会に引き続き、つくば国際大学准教授 山本哲也先生による「認知症の人の“こころ”の理解を深め、介護に役立てよう」というテーマの特別講演会が開催されました。認知症の原因疾患やその特徴についてといった基礎知識の説明に続き、徘徊や妄想などの認知症症状は、介護する側が対応方法を少し変える事で、症状が改善出来る場合があるなど、大変興味深いお話をして頂きました。



また、認知症高齢者に時折見られる昔の事はよく覚えているが、さっきの事は忘れてしまうメカニズムについては、情報を一時的に保ちながら操作する脳のワーキングメモリに障害が起こっている事が原因であるなど、専門性のあるお話を分かり易く説明して下さいました。

そして、認知症の方当事者の視点からの理解として、46歳でアルツハイマー病と診断された科学者のクリスティーン・ブライデンさんを具体例に、当事者の立場に立って考え介護をする事の大切さをお話頂きました。

講演会の終了後、竹中会長が「自分が母親の介護をしていた頃に、こういう知識があれば、もっと違う対応が出来たのかも…。身近でこういう会がある事を知って、是非参加してもらえれば…」と話されておりました。

講演会の終了後、竹中会長が「自分が母親の介護をしていた頃に、こういう知識があれば、もっと違う対応が出来たのかも…。身近でこういう会がある事を知って、是非参加してもらえれば…」と話されておりました。

### ミニ講座

## 周辺症状と対応

今回は認知症の周辺症状と対応について、大きく2つに分けて簡単に説明します。

まず“事実の誤り”（現実の取り違え）です。財布などを取られたと疑う、実際に存在しないものが見えたり聞こえたりする、人をとりちがえるといったものです。対応の原則は、否定しない、話題・場面を変え関心をそらせる、認知症の方の認識に合わせることです。

次に“失敗行動”です。失禁、徘徊、不潔行為などがあります。対応の原則は、叱らない・説得しない、失敗しないような状況（環境）を作る、行動の動機や背景を考えそれを満たすことが求められます。

対応で心がけることは「自尊心を尊重すること」で、認知症の方を子供のように叱りつけたり、とんちんかんな言葉を頭ごなしに否定したりすると、自尊心（プライド）が傷つけられます。以上2点、その方の症状にあった対応をしていきたいものです。

### ◆トピック◆ 公益社団法人認知症の人と家族の会

「認知症の人と家族の会」は認知症の相談窓口として厚生労働省のホームページで紹介されている団体です。全国46ヶ所の支部で無料電話相談を、平日10時～15時までフリーダイヤル0120-294-456で受け付けています。

ホームページでは専門外来の一覧や、患者本人の声など介護する家族の悩みに役立つ情報が掲載されています。情報を得るひとつの手段として活用できます。

記事：釜石市地域包括支援センター 保健師 小山啓子

### ..... 活動予定 .....

☆ つどい定例会（対象：正会員・準会員）

・7月22日（月）13：30～15：00

※ 会場：青葉ビル

☆ 小規模定例会（対象：正会員のみ）

・8月22日（木）13：30～15：00

※ 会場：小佐野コミュニティセンター1階

☆ 事業所見学会（対象：正会員・準会員）

・9月 詳細は後日お知らせいたします。

